

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年8月24日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893300020		
法人名	有限会社 ハイブリッジ		
事業所名	グループホーム メジロ苑	ユニット名	かえで
所在地	〒319-1106 茨城県那珂郡東海村白方1306-1		
自己評価作成日	平成23年1月25日	評価結果 市町村受理日	平成23年8月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年3月4日	評価確定日	平成23年7月15日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

地域との関わりをできるだけ取るように努力している。自治会に入会し地域住民の方々と共に暮らしていけるよう努力している。夏祭りやいも煮会など地域の方に参加を呼び掛け共に楽しんだり近隣の保育園との交流を密にしている。また、日々の生活の中でも利用者がいままで暮らしてきた馴染みの関係（美容室や近隣のスーパーなど）を崩さぬよう外出については日々行っている。買い出しやお見舞いなど職員だけで行くのではなく、利用者と共に出かけるようにしている。利用者やご家族の意向に合わせ、入院時の付き添いや病院受診などの支援も積極的に行っている。利用者を第一に考え『一人ひとりに寄り添い』本人の背景から自己決定や自立を支援し、認知症等により自己表現が難しくなっている人でも『その人らしさ』を表現し続けていけるよう日々努力している。なにより利用者と職員が一緒に生活していることを忘れずに一日一日を楽しく送っています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者と職員は信頼関係のもと利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めるとともに、協力し合い利用者の支援にあたっている。  
「生活状態記録」を2ヶ月に1回家族等に送付して利用者の様子や健康状態を伝え、安心につながるよう支援をしている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『一人ひとりに寄り添い感謝の心で接します』『笑顔でふれあい地域にとけこみ共に歩いていけるホームを目指します』という独自の理念を全職員でつくり玄関、各ユニットに理念を掲示し職員で共有している。	「一人ひとりに寄り添い、感謝の心で接します」、「笑顔でふれあい、地域にとけこみ、共に歩いていけるホームをめざします」との理念を全職員で作成し、玄関や各ユニットに掲示している。 職員はミーティング等で理念を話し合い、共有して実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しコミュニティーセンターの行事に参加するほか、近隣のグループホームと共同でも煮会やもちつきなどを行ったり、ホーム主催の夏祭りを行い、地域の方々を招いたり、幼稚園や小学校との交流を行っている。	自治会に加入し利用者は地域行事に参加するほか、事業所主催の夏祭りに地域の人々を招待したり、近隣にある同一法人のグループホームと合同でも煮会や餅つき会を開催し、地域の人々や幼稚園児、小学生などを招待して交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	村の認知症サポーター養成講座に職員が講師として参加し、認知症についての理解や支援に積極的に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での内容を職員に文章で報告し会議で出た意見をユニット会議時等で職員に周知するとともに、全職員で検討しサービスの質の向上に努めている。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、村職員等を委員として開催しているが、委員の都合などで2ヶ月に1回開催するまでには至っていない。 会議では事業所の現状や利用者の生活状況を報告するとともに、外部評価結果で明らかになった課題等について話し合っている。	運営推進会議は年間計画を立て、2ヶ月に1回開催することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者が村担当窓口を訪問し取り組みやケアサービス等について相談している。また、村主催の認知症講習会や徘徊模擬訓練等にも参加している。	管理者は折にふれて村担当者を訪問し、事業所の取り組みやケアサービスなどについて相談したり情報交換を行い、協力関係を築くよう努めている。 村が主催する認知症講習会や徘徊模擬訓練等にも積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束につながる行為が見られた時にはミーティング等ですぐに検討し拘束のないケアを目指し日々努力している。日中は居室や玄関の施錠は一切せず自由に出来るようにしている。	職員は研修で身体拘束の内容とその弊害を理解し、身体拘束をしないケアに努めている。 日中は玄関や居室の施錠はせず、利用者の安全を見守りつつ自由な暮らしができるよう支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修や新聞の記事等を活用し職員間で話し合ったり、申し送り等で虐待を見過ごさないように環境作りに日々努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	村主催の成年後見制度に関する研修会に参加したり、資料等を玄関等に置きそれぞれが理解できるよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に相手の気持ちをきちんと確認し不明な点がある場合は理解し納得していただけるまで説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口の設置についての説明を入所時にしていると共に意見箱や定期的にアンケートを作成し意見等が言いやすい環境作りに努めている。また、家族会等の開催によりでた意見や要望・村の訪問相談員の活動報告事項等で解決事項があった場合は早急に対応するよう努めている。	重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、契約時に利用者や家族等に説明をしている。意見箱を玄関に設置するほか定期的にアンケートを実施したり、村の介護相談員が毎月訪れ利用者や家族等の意見や要望を聴く機会を設け、出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度運営者を含めた全職員が集まり全体会議を実施し、意見等を交換している。	運営者と職員で全体会議を月1回実施するほか、リーダー会議やユニット会議で職員の意見や提案を聴く機会を設けている。利用者の状態に合わせた勤務体制の見直しや、使い易い位置へ電気コンセントを取り付けるなど、職員から出た意見や提案を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の個々にあつた役割分担を決め、各自が向上心を持って働けるよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修や外部研修を積極的に取り入れるほか職員の経験に合わせた各研修を社内で計画していると共に、研修を受講した後のフォローアップを実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域内や近隣の福祉施設の行事等に行き来したり、介護支援事業所との情報交換や意見交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接を行い生活歴や思いを把握しているとともに、馴染みの関係がつかれるよう何度かお会いしたり体験入所等も実施している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安や要望、ご家族がホームに何を望むか等、話し合いの場を持つようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談者の思いや悩みをゆっくり聴き助言をするほか、地域包括支援センターへの連絡等の対応をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	時間や場所を常に共有することを意識している。日々の生活の中で利用者から教えてもらう場面が多く励まされたり支え合ったりといい関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員と家族が利用者に対しての思いが一緒でありたい事からホームからの連絡をまめに行ったり、カンファレンスへの参加も促している。また、場合により職員が仲介役になることで、ご本人とご家族の関係が崩れないよう努力している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前からの馴染みのあるお店や友人等に会いに出かけていき関係が切れないよう努めている。	職員は利用者が友人や知人の集まりに参加ができるよう付き添ったり、利用前から通っていた店での買い物や理・美容室などに出かけられるように支援し、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他利用者が入院した際などはお見舞いに行き利用者同士の関わり合い、支え合いができるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も手紙や電話等で利用者やご家族の状況確認ができるよう心がけ、場合により葬儀等にも職員、利用者共に参列もしている。また、関係機関と協力して本人やご家族の相談や支援等に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向を日々傾聴するとともにうまく言えない方などに関しては申し送り等を通じ日々職員間で感じとれる努力をしている。	職員は利用者の話を傾聴し、日々の係わりの中で思いや希望、意向の把握に努めている。 思いや意向の把握が困難な利用者の場合は家族等から情報を得たり、職員の気付きをカンファレンスなどで話し合い、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族、介護支援専門員等からどのような生活を送ってきたのか情報収集し馴染みの物などを持ってきていただき、今まで同様安心して生活できる環境づくりに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りやカンファレンス等で利用者の状態把握に努めている。また、管理者や介護支援専門員、看護師も現場に入り状態の把握に留意している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス時に利用者の課題とケアについて話し合いをしている。また、場合によってはご家族にもカンファレンスに参加していただき介護計画に反映させている。	介護計画は利用者や家族等の意向を大切にしながら、定期的カンファレンスを行い作成している。 モニタリングを実施し設定期間毎に見直すほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活記録を使用し、日々の状態変化や気づき事項を記入し利用者に対してどのようなケアや会話などをしたか記入し、職員間で情報の共有をし利用者一人ひとりにどのような関わり方をすると一番いいケアができるか考え、日々実践している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療連携している病院があり緊急性がある場合でも24時間体制で協力を得ている。また入院した際、ご家族が付き添いができない場合など付き添い支援や自宅への外出支援など状況に合わせた支援を行っている。日々の柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組めるよう努力している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防、幼稚園や小学校、ボランティアなどに協力を依頼し、安心して楽しい生活ができるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力医療機関のほか利用者のかかりつけ医を大切に受診している。かかりつけ医の診療情報や往診医の受診結果等を記録し利用者とかかりつけ医のつなぎ役として支援している。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援するほか、毎週協力医療機関の医師による訪問診療があり、適切な医療が受けられるよう支援をしている。健康管理面を含む「生活状態記録」を2ヶ月に1回作成し、家族等に送付して利用者の様子を伝え安心につなげている。	



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置し状態の変化に応じた対応ができるよう日々の生活から関わりを持つようにしている。オンコール体制で24時間連絡を取れるよう職員との連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は頻繁に面会に行くことで病院関係者との情報交換を密に行っている。入院時の緊急連絡先についてもご家族様だけではなくメジロ苑も連絡先として対応している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り同意書について本人、ご家族に説明し同意を得ているとともにかかりつけ医と相談し行っている。	利用契約時に重度化した場合や終末期における事業所の対応指針を利用者や家族等に説明し同意を得ている。 事業所では看取りの経験は無く終末期の利用者はいないが、利用者や家族等の意向を尊重できるよう、かかりつけ医や職員で話し合っている。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	行方不明に応じ近隣のグループホームと共同で徘徊模擬訓練を行っているとともに、村主催の徘徊模擬訓練にも参加している。また、利用者の急変などに対応できるようマニュアルの作成を行ったり消防署の協力のもと救急蘇生法の講習会を開き、急変や事故発生に備えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署との連携により避難訓練を定期的に実施しているが、夜間想定での避難訓練には至っていない。運営推進会議により地域との協力体制を築いていけるよう話し合いをしている。わずかではあるが食料の備蓄を行っている。	消防署指導のもと年1回避難訓練を実施しているが、夜間を想定した避難訓練を実施したり、近隣住民の参加や協力を得るまでには至っていない。 災害時に備え少量の食糧を備蓄しているが、飲料水や毛布などを備えるまでには至っていない。	避難訓練を年2回以上実施するとともに、夜間を想定した避難訓練を実施することを期待する。 近隣住民や地元消防団に避難訓練への参加が得られるよう、運営推進会議等で働きかけることを期待する。 避難経路図や緊急連絡網を見易い場所に掲示し全職員で共有したり、災害の発生時に備え飲料水や毛布、懐中電灯などを備蓄することが望まれる。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	表情や言動から常にその状態を把握し言葉を選び対応している。話をよく傾聴することでその人を全面的に受け入れられるケアを心がけている。コミュニケーション技法の取得ということで、バリデーション研修にも参加している。	職員は利用者の家族等から話を聴き利用者の生活歴を把握するとともに、利用者一人ひとりに合った呼びかけをしたり、人格を尊重しプライバシーを損ねない対応に努めている。 個人情報書類等は事務室の書架に保管し、責任ある取扱いと管理をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常のコミュニケーションから自然な形で思いや希望を聴き、表情や言動に自己の反応が出ているときは一緒に過ごす時間を多く取り話やすい状況や環境を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の体調に配慮しながら1日をどのように暮らしたいのか確認したり、感じとることで本人の希望に合った生活ができるよう努めている。起床時間や就寝時間等利用者に合わせ無理のないよう支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望により理、美容室へ行ったりホーム内で白髪染めを行うなど利用者のニーズに合わせて対応している。また、自宅へ洋服を取りに行ったりといった対応も随時している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者ができることに注目し、できる範囲で日々一緒に食事作りを行っている。一人ひとりの好みのメニュー等を聴き、食材の買い出しから一緒に行くことで食事を楽しいんで頂いている。	宅配業者が作成した献立となっているが、ユニット毎に利用者の好みを取り入れて変更するなど、臨機応変に対応している。 利用者は能力や希望により、職員と一緒に食事の準備や後片付けをしている。誕生会には利用者の好物を提供したり、行事食や外食などを計画的に実施し、食事が楽しみなものになるよう配慮をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活記録へ食事量と水分量のチェックを全員行っている。食事量の低下やカロリー不足等の対応として、補助食品等の対応をしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施している。また行うことが困難な方に対しては、介助するとともに義歯洗浄剤を毎日使用している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、利用者個々の排泄パターンをつかみトイレ誘導をし安心してトイレでの排泄ができるよう支援を行っている。また、できるだけおむつを使用しない生活を送っていただいている。	職員は排泄チェック表を活用しながら利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけや誘導を行い、トイレで排泄ができるよう支援をしている。 おむつはできるだけ使用しない方針であり、入院中におむつを着用していた場合でも退院後は着用しないようにすることで排泄の自立に向けた支援に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬にできるだけ頼らずに、便通のよい食物の工夫や運動などによりできるだけ自然排便ができるよう支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	おふろの時間等を決めることなくできるだけ入浴したいときに入浴していただいている。毎日入浴を希望する方には毎日入れるよう対応している。湯船には季節に合わせたゆず湯や菖蒲湯、入浴剤等により楽しんで入れるよう工夫している。	毎日入浴ができる体制となっており、利用者の希望にそって夕食後に入浴することも可能となっている。 入浴を好まない利用者には午前中からタイミングを見計らって声かけをし、入浴ができるように工夫をしている。 柚子湯や菖蒲湯などを取り入れ、季節を感じながら入浴ができるように支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	レクリエーションや体操により日中の活動量を増やすことで、ゆっくり休めるような生活をしていただけるよう心がけている。入眠時の声かけ等にも気をつけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報を活用し用法や用量の把握をするよう努めている。医師、薬剤師、看護師の連携により薬剤変更時の確認など連携を密にしている。また、服薬時は日付、名前、時間の確認を声に出し再確認し、きちんと飲み込まれているか確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人、ご家族から生活歴や趣味をきちんと確認することで日々の役割づくりや楽しみ事として生活を支援している。また、ホームに入所されてからの新しい役割づくりや楽しみごとの発見にも努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望に添い買い物やドライブ散歩にいつでも出かけられるよう支援に努めている。また本人とご家族と一緒に出かけられる機会を作れるようご家族への協力依頼もしている。	利用者の希望にそって買い物やドライブ、散歩など、戸外に出かけられるよう支援をしているほか、天気の良い日には中庭のバルコニーで外気浴ができるよう支援をしている。 年間の行事計画を立て、花見や紅葉狩り、クリスマスのイルミネーション見物など、季節に合わせた外出の機会を設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことを希望されている方に対してはご家族ときちんと相談のもと管理していただくようにしている。また、買い物に行った際などは自ら支払いができるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでもご家族に電話できるよう支援している。また、手紙のやり取りもご家族と協力により支援し、クリスマスカードや年賀状など地域の小学校や家族とのやりとりもしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある花や小物を飾ったり、金魚などの動物を飼育したり、音楽を流したりと居心地の良い空間作りに努めている。	食堂兼居間や廊下の共用空間は広く、明るく、清潔に保たれている。 廊下には利用者と職員と一緒に作ったカレンダーや行事の写真などを飾り季節が感じられるとともに、水槽で金魚を飼育したり所々にソファや観葉植物を置き、利用者が寛げるよう工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フローアやバルコニー、地域交流スペースの活用により気の合った利用者同士がゆっくりと過ごせるようにしている。また、フローア等でも新聞を読んだりカレンダー作りなど一人でできる空間作りにも気をつけている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が以前から使い慣れたものなどを使用し過ごしやすい環境作りに努めている。また、配置等に関しては、安全な空間作りを基に本人やご家族の要望も聞き入れるようにしている。	利用者や家族等は自宅で使用していた整理ダンスやカーペット、テーブル、テレビなどを持ち込み、利用前の環境に近い居室となるよう職員と一緒に配置などを工夫している。 利用者は家族等の写真やカレンダー、絵手紙、手作りの作品などを飾り、居心地よく安心して暮らせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者が安心して自立した生活が送れるよう、動線に椅子やソファなどを配置しいつでも休める空間作りに努めている。ホーム内はバリアフリーになっているので車いすやシルバーカーを安心して使用していただいている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム メジロ苑

作成日 平成23年8月12日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催が2カ月に1度できていない。	来年は2か月に1度会議の開催ができる	・地域住民の参加ができるよう、地区社協との連携を行う。	6ヶ月
2	35	夜間想定避難訓練の実施ができていない。	・夜間想定避難訓練の実施 ・食品備蓄量のアップ	・夜間想定避難訓練を実施し、問題点の把握を行う。 ・備蓄食品の整備	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。